



編集と発行

金木町企画室

青森県北津軽郡金木町  
大字金木字朝日山323  
電話 532111 (代表) 内線40



▲位置について……「ヨーイ、」 (川倉小)



▲ぼく、広援団長 カッコイイだろう! (金木小)



▲「ちょっと寒いなあー、」 (嘉瀬小)



▲低学年のびゆく力、の演技 (喜良市小)

町内小学校一斉に

春の大運動会 (6月5日)

# 母校へビックなプレゼント

## "まわし100本"や"奴踊り衣裳生地200着分"など……



▲ "まわし"を手に大喜びの児童 (嘉瀬小)



湯本 正美さん

### 東京在住 湯本さんが贈る 嘉瀬小と金木南中へ

ふるさとを離れて約四十年。「今年還暦を迎え、お世話になった母校への恩返しに……。」と嘉瀬小と金木南中に、約百五十万円相当のプレゼントが届きました。この贈り主は、金木町嘉



▲新しい半天似合うでしょう…。(嘉瀬小)  
後方100周年記念碑は、昭和52年に湯本さん建立したもの。



▲テント(金木南中)

瀬出身で東京都品川区在住、藤博材木店社長の湯本正美さん(六〇)。湯本さんは昭和五十二年にも同小には百周年記念碑、小中それぞれに校旗一式などを贈っているが、今回は兄の斉藤重勝さん(嘉瀬で理容店経営)を通じて、寄贈を申し入れたものです。



▲ソーラー式校舎用時計(嘉瀬小)

嘉瀬小(傳法谷善司校長・児童二百五十四人)へは、嘉瀬出身で現在日本相撲協会役員である二子岳親方の仲介で二百本のまわし、奴踊り衣裳生地二百着分、ソーラー式校舎用時計を贈りました。



▲ヒバで作られた顕彰棚 (金木南中)

奴踊り衣裳の縫製は、児童のお母さんたちが念入りに縫い上げました。同校では、「一昨年からの、男子児童全員が参加する相撲大会を行っているが、自前のまわしで大会がやれる小学校は県内でただ一校」と傳法谷校長は湯本さんの好意を喜んでいました。また、金木南中へは優勝杯を飾る顕彰棚とテントが贈られました。同校では、スキー、相撲は県制覇、男子庭球、卓球、ブラスパンドが県内トップクラスだけに、贈られた顕彰棚をいっばいに行けるようますますの活躍が期待されます。両校では、湯本さんに代わって、兄の斉藤さんに感謝状を贈っており、「先輩の意志を受け継いで、贈られた品を有意義に使いたい」と話しています。

# 田植えはボク達にお任せ!

嘉瀬小で体験学習——嘉瀬農協青年部指導

さる五月二十六日、嘉瀬八幡宮東側で、嘉瀬小学校(傳法谷善司校長)五年生児童四十人による学校田の田植えがにぎやかに行なわれました。

この学校田は、嘉瀬農協青年部(原田修部長)が試験田(榊引優清さん所有)として借りている田んぼの一部を、児童の体験学習用として提供したものです。



▲はじめての田植え経験で、うれしそうな児童

同校でも今年のはじめての経験で、この日は、嘉瀬農協青年部の指導のもと約四アールにもち米を植え付けました。植え付けされたもち米で、秋には全校生徒による「もちつき大会」を予定しているそうです。

児童に大好評だったこともあり、来年は生徒を増やして是非また……と校長先生の熱弁が印象的でした。

# ”緑豊かな山林を造ろう”

大倉岳で——スギ苗木五百本植える

町と金木営林署(福永純久署長)共催の植樹祭が行

る五月十六日、川倉の大倉岳国有林で、関係者約百人が参加して行われました。主催者を代表して大橋町

長、金木営林署長が「災害を防ぎ、地域住民との触れ合いの場ともなる豊かな山林を残そう」と森林資源保

護の大切さを呼びかけてあいさつしました。

このあと参加者全員で、〇・二ヘクタールの斜面にスギの苗木五百本を次々に



▲植樹する大橋町長(右)

植え付けました。

営林署ではこれまで、十ヘクタール程度の皆伐を行っていたが、緑に対する意識の高まりなどにこたえるため、今年からは、五ヘク

タール未満にし、豊かな山林を残していきたい——と話しています。

植樹祭のあと、本格的な山菜シーズンに備えて、山火事警防協議会が金木中央公民館で開かれ、山火事防止対策について熱心に討議が行なわれました。



# 緑のシャワーで心と体をリフレッシュ

## 古くて新しい森林浴

森林浴は、わたしたちの心身の健康に、なぜ役立つのでしょうか。

**森がもたらす安らぎと潤い**

森林へ出かけるために、乗り物に乗り、日常生活から脱出するだけでも気分転換が図れます。また、静かな森の中を散策することは、心に安らぎと潤いをもたらしてくれます。

さらに、山歩きは適度な運動になりますし、草木の緑は、疲れた目をいやす効果のあることが実証されています。

**サクラもちは先人の知恵**

さらにもう一つ、森林には別の特殊な機能があります。「フイトンチッド」という、森林の樹木から発散される物質の効用です。このフイトンチッドを含んだ新鮮な空気が、わたしたちをすがすがしい気分させ、

体の機能により影響をもたらすことが、最近の研究で次第に明らかになってきたのです。

身近な例を挙げてみるとサクラもちやカシワの葉で包むのは、フイトンチッドの効用を生かした先人の知恵だということです。つまり葉から放出されるフイトンチッドに殺菌効果があって、カビをつけにくくしたり、腐りにくくしているというわけです。

森林には、空気中のゴミや汚れを葉や草に付着させ取り除いてくれる働きがあります。さらに新鮮な酸素をつくり出すだけでなく、フイトンチッドを放出し、心身をリフレッシュしてくれる作用もあります。

このように、森林の美しい空気は、わたしたちの健康を増進させ、ストレス解消してくれるかけがえのないものといえましょう。

# 八十一頭を放牧 町宮模範牧場

さる五月十八日、小田川山の町宮模範牧場でようやく牛の放牧が行われました。全管理業務を肉用牛組合（石戸谷秀雄組合長）に委託して四年目の今年は、今春生まればかりの仔牛三十八頭を含め、肉用黒毛和種が全部で八十一頭。県家畜保健衛生所の伝染病予防注射が終り新しい耳標が付けられると、次々に牧区に



▲牧区内に放牧された黒毛和種

入れました。長い間牛舎に閉じ込めていた牛たちも、春のひざしを体いっぱい受けて、十五〜二十センチほど伸びた新鮮な牧草を求めて盛んに走り回っていました。この牛たちは、十月まで約六カ月間青々とした牧場での生活を送ることになりました。

## 朝野球開幕20チーム347人が登録



五月十五日、芦野グラウンドで金木町朝野球選手権開会式が行われ、今年度の健闘を誓い合いました。式は午前五時から役員・選手約二百八十人が参加して行われ、昨年度A級優勝の男寿シクラブチームとB級優勝の蒔田フェニックスチームからの優勝旗返還の後、大橋忠勝金木町朝野球協会長のあいさつ、県議会議員花田一氏から祝辞（メッセージ）が述べられ、男寿シクラブチームの松野岳

彦さんの選手宣誓により昭和六十三年度金木町朝野球選手権大会がスタートしました。今年の参加チームはA級十チーム、B級十チームの二十チームとなっており、三百四十七人が登録しております。この日から早速、金木高校グラウンド、芦野グラウンドにおいて試合が始まり八月中旬まで熱戦が繰り広げられます。

## あなたの善意

町社会福祉協議会へ次の方より寄付がありました。福祉事業推進の為、有効に使わせていただきありがとうございます。  
▽三上伴二さん（五所川原市） 一〇、〇〇〇円  
▽藤枝婦人会 一〇、〇〇〇円  
▽津島俊雄さん（米町） 一〇〇、〇〇〇円  
津島さんは、金木町民生委員協議会総務として活躍されており、この

ありがとうございます

## 六月は男女雇用機会均等月間

■求められる男女差別の解消■

全雇用者の37%は女性

職場での男女平等を目指す男女雇用機会均等法が施行されてから二年余りが過ぎましたが、あなたの職場ではどうでしょうか。従来、どちらかという

と女子労働者は事務補助職と考えられがちでした。「職場の花」という表現にもそんな響きがかもつていたのでないでしょうか。しかし、企業などに雇

用されて働く労働者はいまや千六百万人を越え、全雇用者の三七%を占めるに至っています。女性管理職も年々着実に増え、六十二年には十六万人に達しています。こうした女子労働者の進出を背景に生まれたのが男女雇用機会均等法で、女子を差別しないよう求められているのです。



